

第2回 物語・小説(2) 場面②

*次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

蒼月勝はサッカー部に入っていますが、県大会のレギュラーから外されてしまいました。勝の母は、小鳥専門の獣医です。勝の父は普段、家から離れた島で家畜専門の獣医として働いています。

「おーい、勝！」

学校の門をくぐろうとして、おれは後ろをふり返った。

「お父さん！」

お父さんが、『こっち、こっち。』と手招きしているのが見えた。

「どうしてこんなところにいるの？ ご飯、先に食べて①なんて学校にいるの？」

おれはお父さんのそばへかけ寄った。お父さんはにこにこ笑って、学校のグラウンドを指さした。

A

B

お父さんは、グラウンドを見つめている。

「おれを？」

10

おれは首をかしげた。

C

D

「ちがう、ちがう。朝ご飯の用意ができたから、呼びに行っただ。そしたらおまえのでっかい声が聞こえて……。」

(それって、やっぱり立ち聞きじゃん。)

おれは、心の中でつぶやいた。

「それで、どうしようかなあとしばらく待っていたら、続けてお母さんの話す声が聞こえてきてな。」

おれはずっと口をむすんだまま、下を向いていた。

「お母さん、さすがいいこと言ってるなあって思って、音を出さないように拍手をしていたんだよ。」

お父さんは、満面の笑み。

「やっぱりずーっと立ち聞きじゃん。」

おれはお父さんをにらみつけた。

「いやいや、そこからは立ち聞きしていないよ。」

お父さんは、すました顔で続けた。

「今日はなにがなんでも、おまえをクラブチームの練習に参加させて、本当のことを聞かせたほうがいいと思ってな。」

「なにがなんでもって……。」

おれはお父さんの、自分勝手というか、思いこんだら突っ走る感じのところにあきれていた。

35

30

25

20

15

「てつきりおまえは、コーチや竜くんたちの本当の気持ちを知ってるもんだと思ってたよ。どうしてレギュラーから外されたかってこと、おまえはちゃんと聞かなきゃいかん。」

「本当の気持ちって？」

「お父さん、島から帰ってきた日におまえの様子を見に、学校のグラウンドへ来たって言ったろ？」

「うん。」

「そのとき、コーチや竜くんたちのおまえに対する思いを聞いて、すぐくうれしかつたんだ。もちろんおまえも知っていて、治療に専念するもんだと思っていたんだがなあ。」

「おれに対する思いってなに？」

おれはお父さんを見上げた。お父さんはグラウンドのフェンスから見える、みんなの姿を指さした。

「②今からみんなのところへ行ってこい。そして、③どうして自分が県大会はレギュラーを外されたのか、本当の理由を自分の耳で聞いてこい。それで思いっきり感動してこい！」

お父さんはなぜか目が□□しているように見えた。ひとり盛り上がって感動して泣いていることがよくある。「感動するとかしないとか、よくわからないけど。おれ実は、竜とケンカしたままなんだ。ちょっと後悔していたから、これから聞いてくるよ。」

お父さんはおれの背中をぐっとおして、「よしよし。とにかく今は絶対に無理をして練習をしてはダメだぞ。」

お父さんは手をふって、学校をはなれて行った。校舎の前を通過して、グラウンドへ向かう。

（あれ？ みんな、どこにいるんだろう？）

竜たちの練習している姿が、どこにも見えない。

（そろそろ準備運動も終わって、パス練習が始まってるころなんだけどなあ。）

おれがグラウンドに近づいていくと、ゴールポストの近くで円陣を組んでいるみんなの姿が見つかった。

「なにがなんでも、県大会は優勝をして代表になるぞ！」

『三連覇だ！』

キャプテンに続いて、チームメイトの声がひびいた。

『全国大会は勝といっしょに出るぞ！』

今度は竜の声。

『そのために県大会は蒼月の足を休ませて、治療に専念させるよと決めたんだ。わかっているな！』

コーチの声も聞こえてきた。

『県大会は勝のために優勝するぞ！』

おれはうつむいたまま、なんとも言えなかった。そして、しばらくしてから小さな声でつぶやいた。

「おれ、めっちゃくちゃはずかしい……。」

おれは、竜りゅうやほかのチームメイトのことを信じられなかったり、コーチのことをうらんだりしていた。体中が2と熱あつくなって、その場で「おれ、バカだ！」と怒ど鳴なった。急に力がぬけて、おれは3とその場にすわりこんだ。

「そういえばコーチ、今まで通り筋トレだけはちゃんとしとけて言いってたな。」

なんであのとき、最後まで話を聞きかなかったんだらう？
なんでもっとコーチや竜りゅうたちの心の奥おくを知しらうとできな

かったんだらう？ と思うと、なみだが出でそうになった。こらえようとすると、のどの奥おくが痛いたくなってツバをゴクンと飲みこんだ。

(あとでコーチや竜りゅうに謝あやまろう。そして、みんなといっしょに、今おれができる練習をしつかりとやろう。)

おれはそう心に決めて、グラウンドをあとにした。

(小原麻由美「図書室のふしぎな出会い」〈文研出版〉より)

問一 文章中の1と3にあてはまる言葉を次から一つずつ選えらび、それぞれ記号で答えなさい。

- ア ウルウル イ ぐるぐる ウ かつか
エ キラキラ オ ふにやふにや

問二 文章中のAとDにあてはまる会話を、次からそれぞれ一つずつ選えらび、記号で答えなさい。

ア 今朝けさ、おまえとお母さんが診察室しんさつで話わしてるのを聞いてな。

イ 学校にじゃなくて、おまえを待まちっていたんだよ。

ウ 立ち聞きしてたの？

エ 学校になんの用もちだよ。

問三 線①「なんで学校にいるの？」とありますが、

父が学校にいるのはなぜですか。最も適もつと切てきせつなものを次から選えらび、記号で答えなさい。

ア 勝まさるをクラブチームの練習に参加さんかさせて、真ま実に気きづかせたいと思ったから。

イ ケガで迷めい惑わくをかけているコーチやチームメイトに勝まさるを謝あやまりに行いかせたかったから。

ウ チームメイトとの練習を優ゆう先せんしたほうがよいということことを勝まさるに伝つたえたかったから。

エ 勝まさるがレギュラーから外とされた理由りゆうをコーチに直ち接よく問せついたただそうとしたから。

問四

——線②「今からみんなのところへ行っていていい」とありますが、勝が、父の言葉通りに、みんなのところへ行って話を聞く気になったのはなぜですか。——線②より後の文章中の言葉を使って、二十五字以内で答えなさい。

へ A へ ↓ へ B へ

ア 教室

イ 校門の前

ウ グラウンド

エ 勝の家

オ 学校の廊下

★問五

——線③「どうして自分が県大会はレギュラーを外されたのか」とありますが、コーチが勝を県大会のレギュラーから外したのはなぜですか。次のように説明するとき、A・Bにあてはまる言葉を文章中からそれぞれ指定の字数でぬき出して答えなさい。ただし B は、はじめと終わりの三字のみを答えなさい。

・勝を A 四字

B 十三字と決めたから。

さい。

ア 23行めから

イ 51行めから

ウ 64行めから

エ 90行めから

★問六 この文章の場面について、次のそれぞれの問いに

答えなさい。

― 勝のいる場所は、どのように変化しましたか。次のように表すとき、へ A へ・へ B へにあてはまる言葉を後からそれぞれ選び、記号で答えなさい。